

サーマルプリンタ BL-112PS BL-112UI 取扱説明書

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

このたびは、BL-112サーマルプリンタをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前の前に、必ず「安全上の注意」をよくお読みの上、プリンタを安全に正しくお取り扱いください。この取扱説明書は、大切に保管してください。

安全上の注意

本装置を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

	警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- △記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています。
- ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左の表示例は「分解禁止」を表しています。
- 記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。

警告

	指定以外のACアダプタは使用しないでください。 発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。
	電源ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源ケーブルに傷がついて火災や感電の原因になります。 電源ケーブルに傷がついた場合は使用しないでください。
	プリンタおよびACアダプタは絶対に分解や改造しないでください。 発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。

注意

	プリンタの内部や隙間に金属片を落としたり、水やコーヒーなどの液体をこぼさないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
	印字直後は、サーマルヘッド部が高温になっていることがありますので、絶対に触らないでください。用紙の交換やヘッドのクリーニングは、サーマルヘッドが冷えていることを確認してから行ってください。
	電源ケーブルやインタフェースケーブルをコネクタやコンセントから抜くときはコネクタ部分を持って外してください。 ケーブル部分を引っ張ると故障の原因となります。
	次のような場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 <ul style="list-style-type: none">異常状態から回復できないとき異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき本装置の内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき 異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。

1. お取り扱い上の注意

- 次のことに注意して安全に正しくお使いください。
 - ご使用に際して
 - 落としたり、ぶついたりして衝撃を与えないでください。

ご使用にならないときは、電源をOFFにして電源コンセントからACプラグを外してください。紙を挿入口・吐き出し口より引っ張りますと、故障の原因となりますのでお止めください。

感熱紙のお取り扱いについて
乾燥した冷暗所に保存してください。固いもので強くこすらないでください。有機溶剤の近くに置かないでください。塩化ビニールフィルム、消しゴムや粘着テープに長時間接触させないでください。複写直後のジャズおよび湿式コピーとは重ねないでください。感熱紙は必ず指定紙をお使いください。

設置について

水平で安定した場所に設置してください。次のような場所には設置しないでください。傾いた場所や、強い振動のある場所
直射日光が当たる場所やホコリが多い場所
温度が極端に高い場所や低い場所
腐食性のガスが発生する場所

2. 準備

2.1 開梱

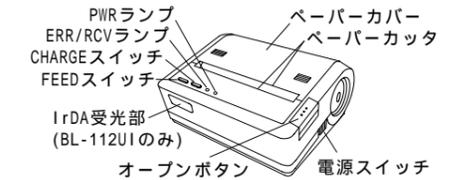
梱包を解きましたら、本体と付属品が全て揃っていることを確認してください。

- 本体 1台
- 感熱紙（ロール紙長さ6mのもの）1巻
- 取扱説明書 1枚
- ACアダプタ 1個
- ACコード 1本

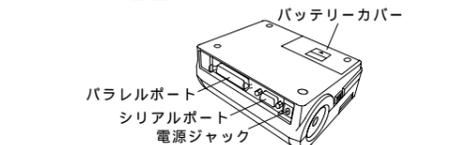
感熱紙は弊社又は代理店にて取り扱っておりますので、お申し付けください。

2.2 各部の名称

BL-112PS/BL-112UI・正面図



BL-112PS・背面図



BL-112UI・背面図



2.3 操作パネル

- 電源スイッチ
電源をON/OFFするためのスライドスイッチです。
- FEEDスイッチ
押している間は用紙が送り出されます。
- CHARGEスイッチ
ACアダプタ接続時に約3秒間押し、バッテリーパックに充電を開始します。
- PWRランプ（緑色）
電源ON時に点灯します。バッテリー容量が少なくなると点滅します。
- ERR/RCVランプ（赤色）
エラー時にはエラー内容によって点灯、点滅のパターンが変わります。IrDA通信時は点滅で通信中を示します。

3. 操作のしかた

3.1 ACアダプタの接続

電源スイッチをOFFにします。
ACアダプタのDCプラグを本体の電源ジャックに差し込みます。

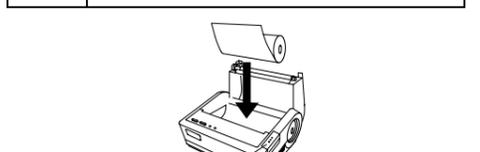
ACアダプタのACプラグをコンセントに差し込みます。

【注意】

DCプラグの先端部には触らないでください。ACアダプタをはずすときはプリンタの電源スイッチをOFFにし、ACプラグをコンセントから抜いてから、DCプラグを抜いてください。

3.2 用紙のセット

オープンボタンを押してペーパーカバーを開けます。用紙を図の向きにセットします。（紙の表裏が反対ですと印字しません。）
用紙の先端がプリンタの外に出るようにして、ペーパーカバーの上面の両端を押し込んでカバーを閉じます。

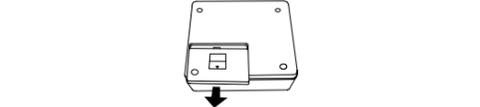


3.3 バッテリーパック

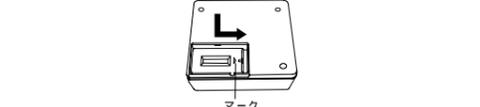
お買い上げ直後や長時間ご使用にならなかったときは、バッテリーパックが消耗していますので、ご使用前に充電してください。

バッテリーパックの取り付け方

プリンタの電源を切ります。
バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取り外します。



バッテリーパックをマークが右に来るようにして、バッテリーケースの左側の方に置き、右側へカチッと音がするまでスライドさせてセットします。



バッテリーパックの外し方
プリンタの電源を切ります。
バッテリーカバーを外し、バッテリーパックを左側へスライドさせます。バッテリーパックが下に落ちないように、手で抑えながらプリンタを裏返し、バッテリーパックを手のひらの上に落として取り出します。

・不要になったバッテリーパックは、廃棄せず最寄りのリサイクル協力店にお持ちください。
充電のしかた
電源スイッチをOFFにします。
バッテリーパックを取り付けます。
ACアダプタを接続します。
電源スイッチをONにします。
CHARGEスイッチを約3秒間押します。

充電を開始すると、PWRランプとERR/RCVランプが交互に点滅します。
充電が完了すると印字待機状態になります。（PWRランプが点灯、ERR/RCVランプが消灯。）電源スイッチをわにし、ACアダプタを外します。（充電時間は約2時間です。）
フル充電時は、感熱紙64m以上を印字することができます。（印字率30%）
・パラレルケーブルでパソコンに接続している場合、パソコンの電源を切るときは、ケーブルを外してから行ってください。パソコンによってはプリンタをリセットしてしまいます。

3.4 お手入れのしかた

プリンタの表面が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きするか、中性洗剤を含ませた布で拭いてから乾拭きしてください。

【注意】

・シナー、ベンジンなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

・プリンタの内部は絶対に水などで濡らさないでください。

3.5 エラー表示

エラー状態になると、PWRランプ、ERR/RCVランプの点灯または点滅により、エラー内容を示します。エラー内容は下表のようになります。

が0.1秒間点灯。 が0.1秒間消灯を示します。

電源スイッチ	状態	ランプ表示
オン	通常時 (印字可能)	PWR ERR/RCV (IrDA受信時は点滅)
	電圧異常、 バッテリー	PWR ERR/RCV 又は（紙無し等）
	温度エラー	PWR ERR/RCV
	紙無し、 カバーオープン	PWR ERR/RCV
	充電中 (充電完了で通常時に復帰)	PWR ERR/RCV
	テスト印字	PWR ERR/RCV
	HEXダンプリン 印字	PWR ERR/RCV
	機能設定 モード	PWR ERR/RCV
オフ	電源オフ	PWR ERR/RCV

3.6 テスト印字

テスト印字では、プリンタが持っている文字を普通・倍幅拡大の順に印字します。FEEDスイッチを押しながら電源スイッチをONにしますと、テスト印字を開始します。

3.7 HEXダンプリン印字

コンピュータから入力したデータを16進数と文字で印字します。CHARGEスイッチを押しながら電源スイッチをONにしますと、HEXダンプリンモードに入ります。

3.8 機能設定

プリンタの機能を、操作スイッチにより設定します。FEEDスイッチとCHARGEスイッチを押しながら電源スイッチをONにしますと、機能設定モードに入ります。メッセージが印字されたら、YESのときはFEEDスイッチ、NOのときはCHARGEスイッチを押して選択します。
設定項目（下線は出荷モード）

- インクフェイス（日本語、シリアル）（1）
文字セット（日本、アメリカ、イタリ、フランス、スペイン、イタリア、スウェーデン）
 - フォントサイズ（24ドット、16ドット）
 - PEL（リファクタ（有効、無効））
 - ペーパータイプ（NORMAL PAPER、LABEL PAPER）
 - ビット長（8ビット、7ビット）（1）
 - パリティ（NON、ODD、EVEN）（1）
 - フロー制御（RTS/CTS、Xon/Xoff）（1）
 - ポートレート（1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200bps）（1）
- 1は、BL-112PSタイプのみです。
BL-112UIでは、USBケーブル接続時にUSBモードとなり、それ以外ではIrDAモードとなります。

3.9 コンピュータとの接続

・インクケーブルは、コンピュータに合わせて2m以内のシールドケーブルをご使用ください。

4.仕様

4.1 一般仕様

コマンド体系	ESC/POS準拠
印字方式	感熱インクジェット方式
データ入力	
BL-112PS	パラレル（セントロク準拠） コネクタ：36pinアソシエール シリアル（RS-232C準拠） コネクタ：9pin D-SUB 抜（インテリジェント）
BL-112UI	赤外線通信 IrDA 1.1準拠 USB通信 USB 1.1準拠 コネクタ：USB 4P Bタイプ

最高印字速度

80mm/s max.（ACアダプタ使用時）
75mm/s max.（バッテリー使用時）

印字幅 / 紙幅

104mm / 112mm

バーコード

UPC-A/E、JAN8/13、CODE39、ITF、NW7、CODE128（EAN128）、QRCode（Mode12）、DataMatrix、PDF417、MicroPDF417、MaxiCode

電源 専用外部電源 ACアダプタ
型番：BLS-100W

入力：AC100V～240V、50/60Hz
出力：DC8.7V 3.3A

ACアダプタ用ACコード
(御指定のもの1本を同梱)
型番：ACS-100J（国内向け）
ACS-100U（米国向け）
ACS-100G（欧州向け）
ACS-100E（英国向け）

バッテリーパック リチウム電池（リチウムイオン）
型番：UR-121

外形寸法（W×D×H、突起部を除く）
154mm×129mm×66.3mm

質量 約500g（感熱紙、バッテリーパックを除く）
動作環境 温度 0～+40
湿度 30%RH～80%RH
(結露しないこと)

保存環境 温度 -20～+60
湿度 20%RH～85%RH
(結露しないこと)

使用感熱紙 型番：P-112-30（10巻/箱）
紙幅：112mm
ロール紙長さ：約30m
ロール紙外径：50mm

EMI規格 VCCI CLASS B、FCC CLASS B、CE
受信レベル 1Kバイト

Windowsドライバ、技術マニュアル（マニュアル仕様書）は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。
携帯電話との赤外線通信につきましては、弊社ホームページをご覧ください。
Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
この取扱説明書の内容は、製品の改良に伴い、予告なしに変更することがあります。

三栄電機株式会社

三栄電機株式会社
本社 東京都豊島区池袋2-61-1
大森池袋ビル5F 〒171-0014
TEL.03-3986-0646(代)
FAX.03-3988-5876

西日本営業所 大阪市淀川区西中島3-5-2
新居第10ビル 〒532-0011
TEL.06-6309-9530(代)
FAX.06-6309-9532

名古屋営業所 名古屋市名東区上社1-802
上社ターミナルビル2F 〒465-0025
TEL.052-760-6500(代)
FAX.052-760-6510

ホームページ：<http://www.sanei-elec.co.jp>

（1.2006）